

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

Q1 Results

2026年8月3日



証券コード 1967

おかげさまで、ヤマトは2025年10月1日に創業80周年を迎えました

80周年



社章の制定

1958年11月に社章を制定。
社名の頭文字「大」を鳥類の王者、鷲にたとえ、
鷲がまさに羽ばたこうとする躍動感を表し、
円は「大和」の「和」を表現

社章制定

教育センター開設

新時代に対応した技術者
育成のために開設

(現 教育センター:2021年に前橋市古市町に移転)

技術者養成

工業化推進の要となる
加工センター(第1、第2工場)に続き
朝倉工場を新設

工業化の推進

新本社ビル竣工

新本社ビル竣工

1999年 東証一部に上場

ZEBの取組みを加速する
ヤマトプロダクトセンターを開設

ZEBの推進

見える化の推進

2022年 東証スタンダード市場に移行

新事業への進出

ヤマトビオトープ園の開園

自然の生態系に近い環境を創出
する試みとして2001年11月に
開園。四季折々の生物や植物など
多様性に富んだ自然生態系を実現

ビオトープ園

大和环境技術研究所開設

水処理技術の開発を研究対象として
合併処理浄化槽や微生物固定化電極技術、
浄水原水中の微細固形物のろ過膜による除去、
高度排水処理技術による配水再利用等を研究・開発

環境技術研究

研究開発

ゼロスロータリーの開発

独自の研究開発により、
鶏糞を醗酵処理して有機肥料とする
機械「ゼロスロータリー」を製造販売

1945

創業

1958

1964年 東証二部に上場

1969

1979

1989

1993

1996年 資本金50億円に

2001

2014

2015

2020

2023

2025

2026

INDEX

01 2027年3月期 第1四半期 決算補足説明 *Q1 Results* ... 4

02 2027年3月期 通期業績予想 *Forecast* ... 13

03 参考資料 *Appendix* ... 16

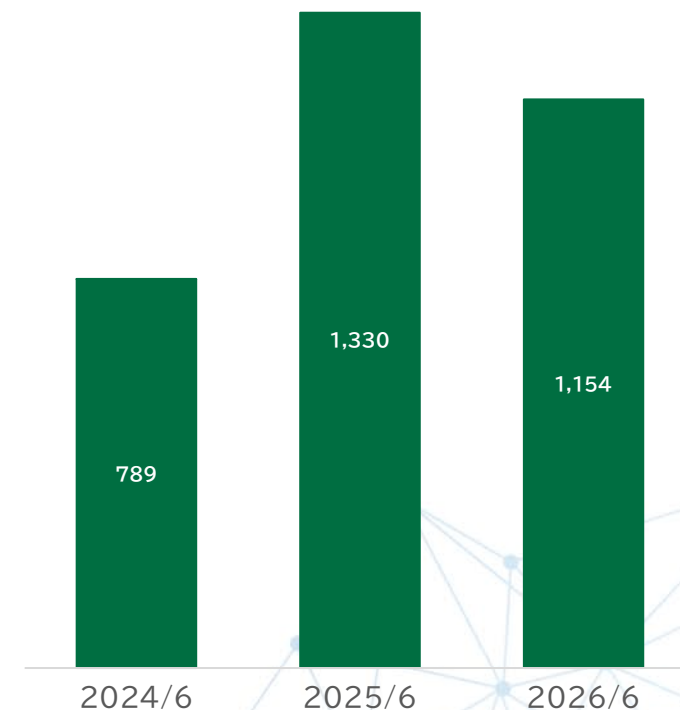
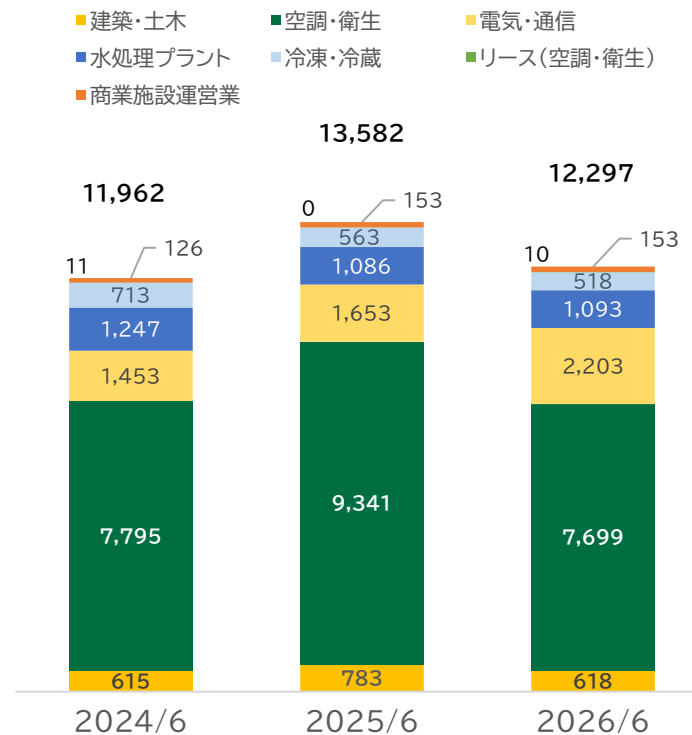
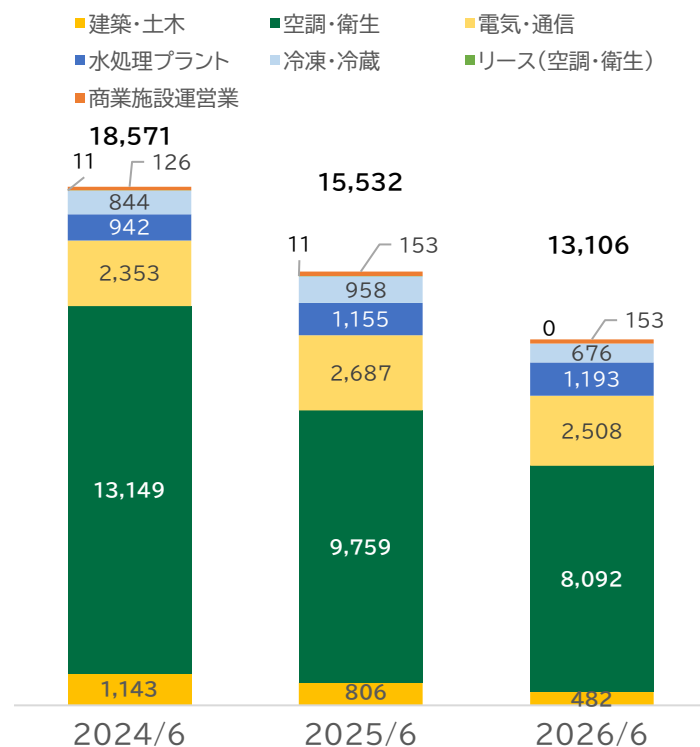
連結受注高・連結売上高・連結営業利益の推移

受注高については、堅調な受注環境が続く中、施工体制の最適化(品質・工期)を目的に、新規受注を戦略的に抑制したことにより、前年同期比15.6%減の131億6百万円。売上高は、大型工事が施工初期段階であったことにより、前年同期比9.5%減の122億9千7百万円。営業利益は、人件費増などにより、前年同期比13.2%減の11億5千4百万円。

連結受注高 (百万円)

連結売上高 (百万円)

連結営業利益 (百万円)

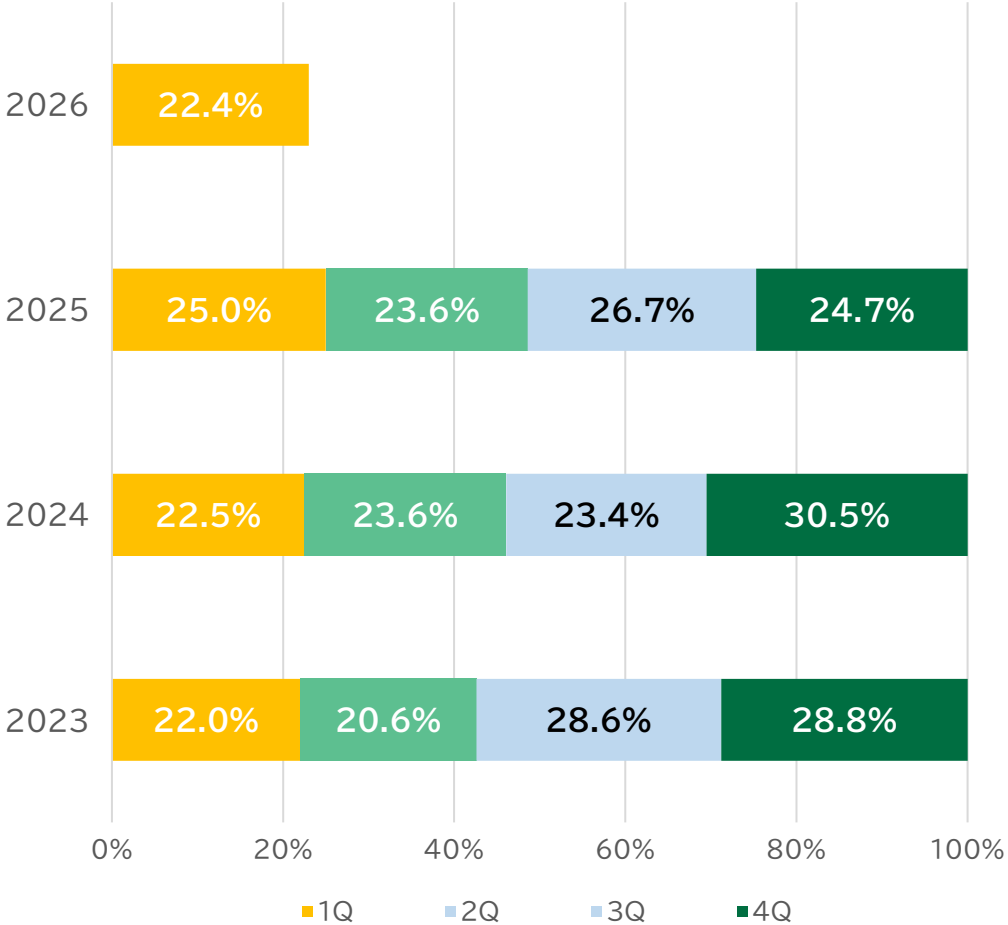


2027年3月期 第1四半期決算概要

(単位:百万円)	2024/6 (実績)	2025/6 (実績)	2026/6 (実績)	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	11,962	13,582	12,297	△1,284	△9.5%
建設工事業売上高	11,836	13,428	12,144	△1,284	△9.6%
商業施設運營業売上高	126	153	153	0	0.0%
売上総利益	1,546	2,075	1,946	△128	△6.2%
販売費および一般管理費	756	744	792	47	6.4%
営業利益	789	1,330	1,154	△176	△13.2%
(営業利益率)	(6.6%)	(9.8%)	(9.4%)		(△0.4pt)
経常利益	891	1,430	1,212	△217	△15.2%
(経常利益率)	(7.5%)	(10.5%)	(9.9%)		(△0.7pt)
親会社株主に帰属する四半期純利益	608	914	856	△57	△6.3%
(四半期純利益率)	(5.1%)	(6.7%)	(7.0%)		(0.2pt)

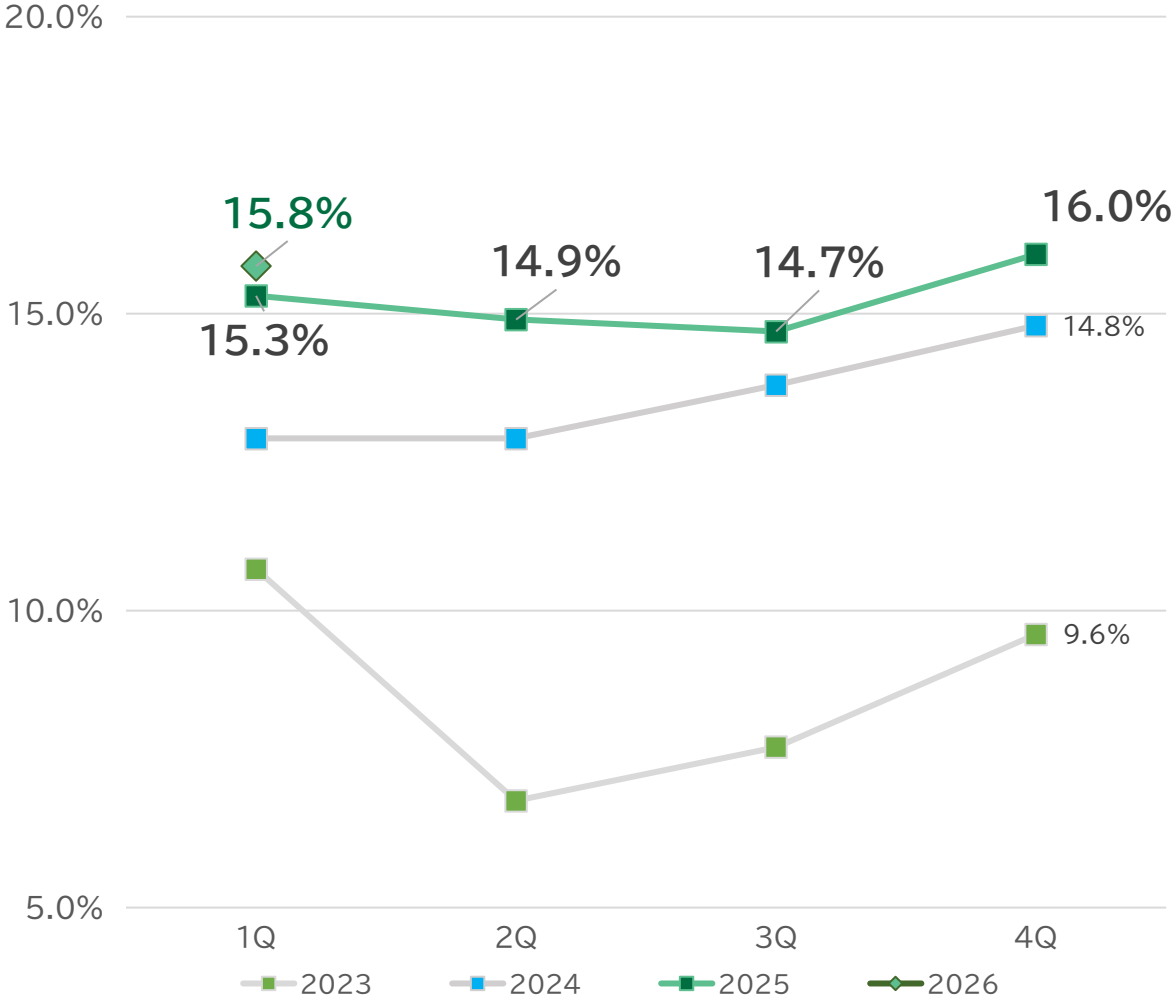
四半期毎の売上高進捗率と売上総利益率の推移

四半期毎 売上高進捗率



※2026年の進捗率は、通期予想の売上高を基準に算出しています

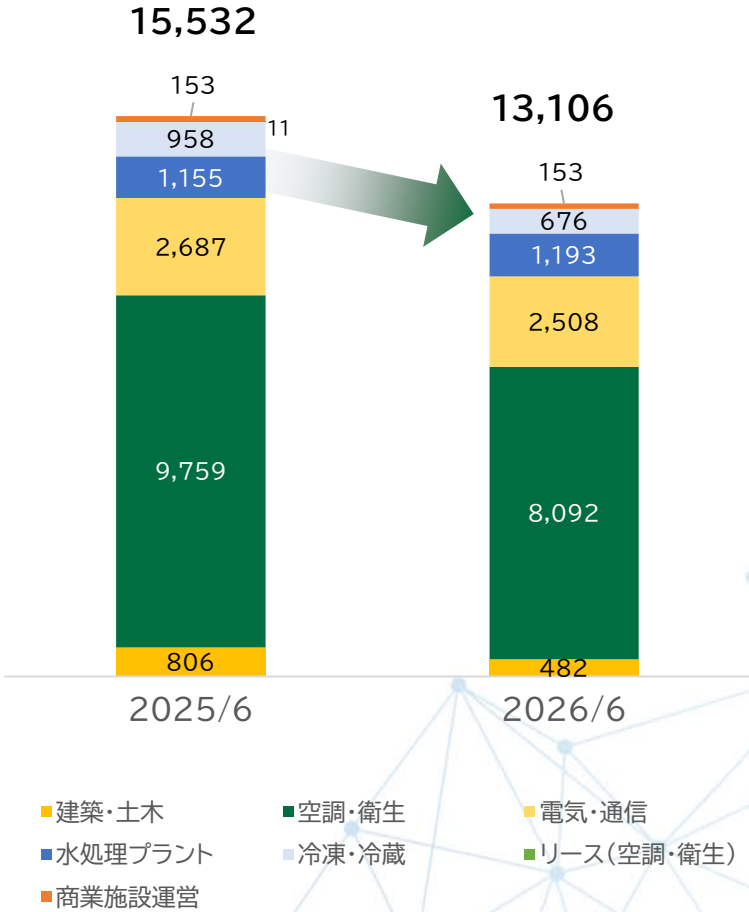
四半期毎 売上総利益率の推移(累計)



種類別連結受注高

(単位:百万円)		2025/6	2026/6	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	806	482	△324	△40.2%
	空 調 ・ 衛 生	9,759	8,092	△1,667	△17.1%
	電 気 ・ 通 信	2,687	2,508	△178	△6.7%
	水 処 理 プ ラ ン ト	1,155	1,193	37	3.3%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	958	676	△281	△29.4%
	リース(空調・衛生)	11	0	△11	△98.2%
	計	15,379	12,953	△2,425	△15.8%
商 業 施 設 運 営 業		153	153	0	0.0%
合 計		15,532	13,106	△2,425	△15.6%

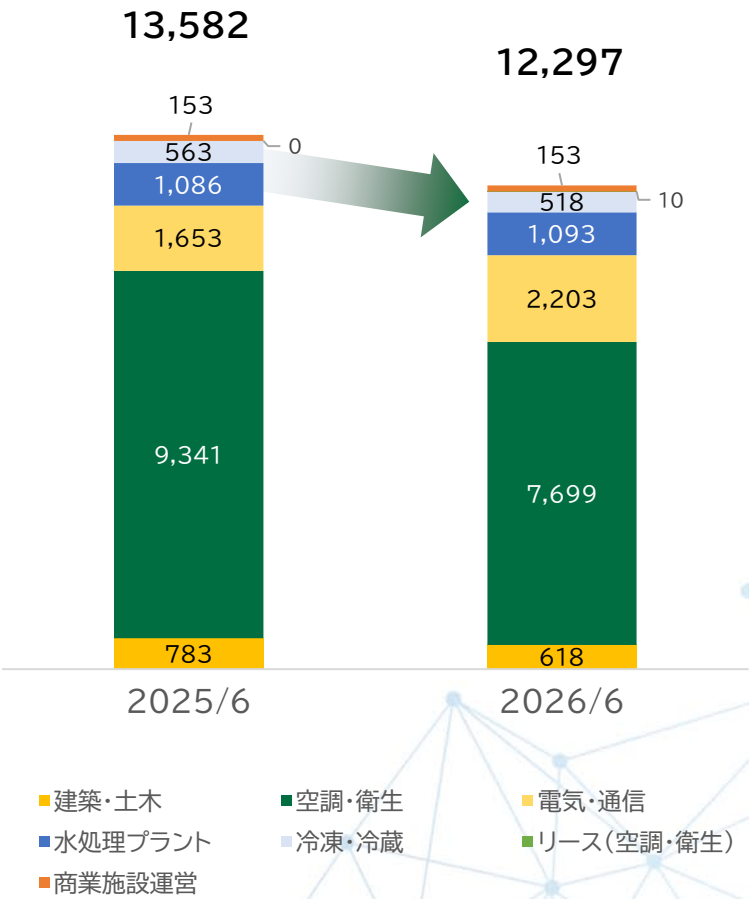
種類別連結受注高の推移



種類別連結売上高

(単位:百万円)		2025/6	2026/6	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	783	618	△165	△21.1%
	空 調 ・ 衛 生	9,341	7,699	△1,641	△17.6%
	電 気 ・ 通 信	1,653	2,203	549	33.2%
	水 処 理 プ ラ ン ト	1,086	1,093	7	0.7%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	563	518	△45	△8.1%
	リース(空調・衛生)	0	10	10	－%
	計	13,428	12,144	△1,284	△9.6%
商 業 施 設 運 営 業		153	153	0	0%
合 計		13,582	12,297	△1,284	△9.5%

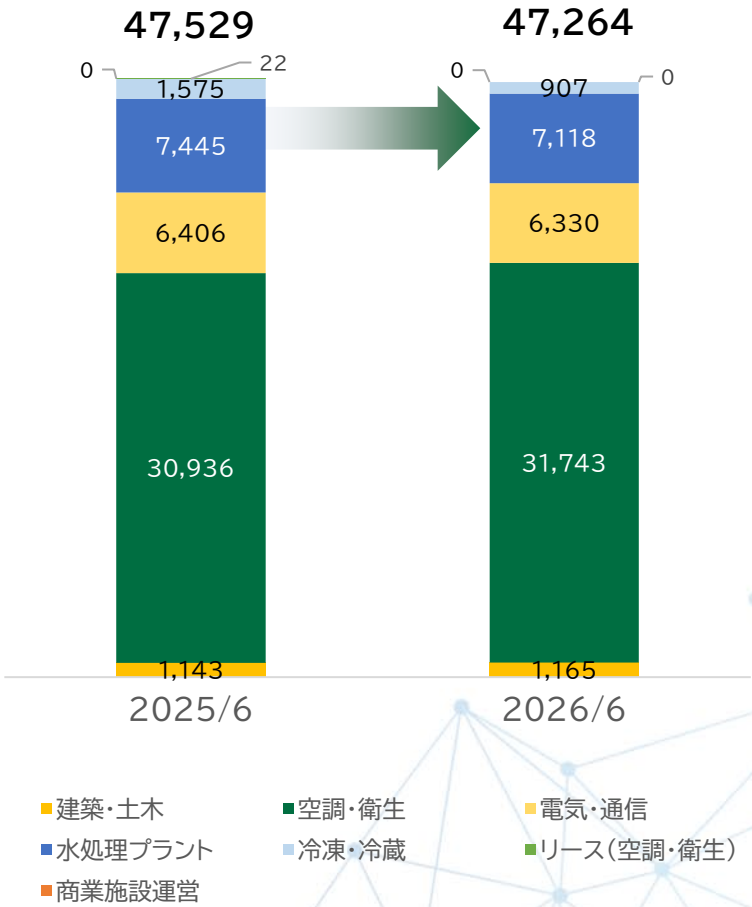
種類別連結売上高の推移



種類別連結繰越高

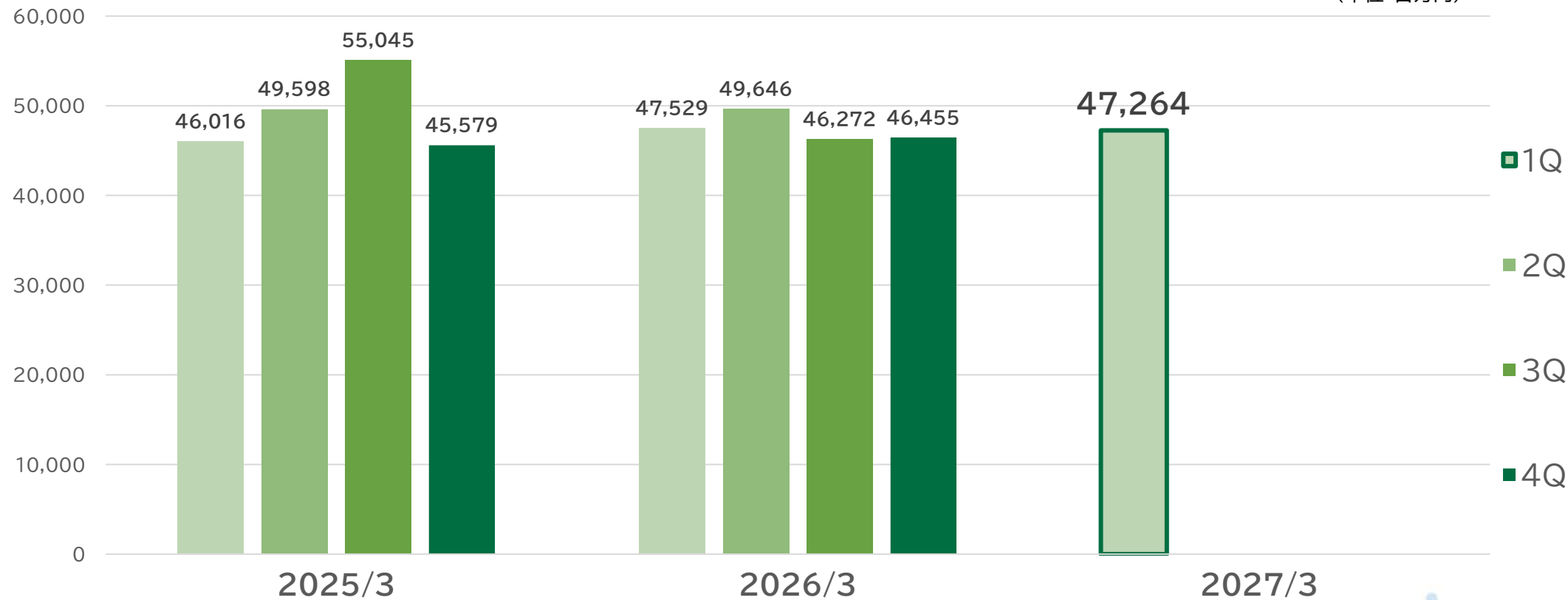
(単位:百万円)		2025/6	2026/6	前年同期比	
				増減額	増減率
建 工 事 設 業	建 築 ・ 土 木	1,143	1,165	21	1.9%
	空 調 ・ 衛 生	30,936	31,743	806	2.6%
	電 気 ・ 通 信	6,406	6,330	△75	△1.2%
	水 処 理 プ ラ ン ト	7,445	7,118	△327	△4.4%
	冷 凍 ・ 冷 蔵	1,575	907	△668	△42.4%
	リース(空調・衛生)	22	0	△22	△100.0%
	計	47,529	47,264	△265	△0.6%
商 業 施 設 運 営 業		-	-	-	-
合 計		47,529	47,264	△265	△0.6%

種類別連結繰越高の推移



四半期毎連結繰越高の推移

(単位:百万円)



1Q	2Q	3Q	4Q
46,016	49,598	55,045	45,579

1Q	2Q	3Q	4Q
47,529	49,646	46,272	46,455

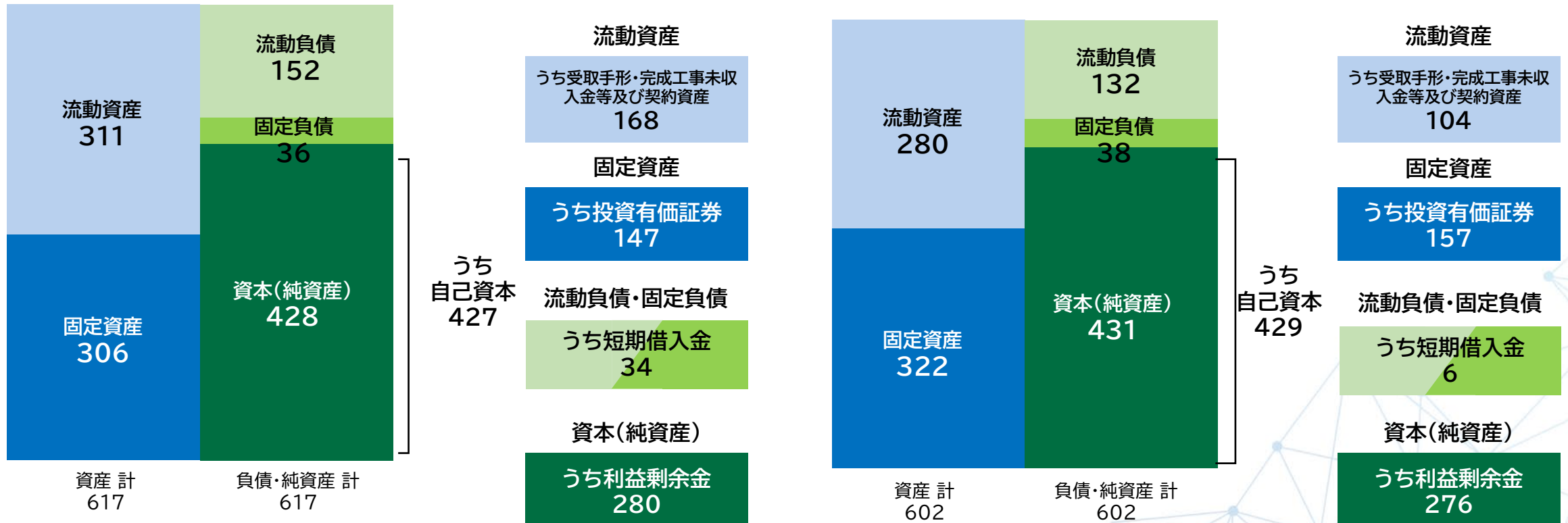
1Q	2Q	3Q	4Q
47,264			

連結貸借対照表(億円)

- 資産 主として売上債権の回収により「現金預金」が増加した一方、「受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産」が減少
- 負債 主として売上債権の回収により返済を行い「短期借入金」が減少
- 純資産 主として「その他有価証券評価差額金」が増加した一方、配当金の支払いにより「利益剰余金」が減少

2026/3(億円)

2026/6(億円)



連結貸借対照表（百万円）

資産の部		2026/3 実績	2026/6 実績	増減
流動資産	現金預金	8,351	12,452	4,100
	受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	16,805	10,419	△6,386
	電子記録債権	1,607	1,644	36
	有価証券	301	163	△138
	未成工事支出金等	2,283	1,939	△344
	その他	1,771	1,416	△354
	貸倒引当金	△9	△9	—
	流動資産合計	31,112	28,025	△3,086
固定資産	有形固定資産	11,721	12,243	521
	無形固定資産	1,568	1,613	44
	投資その他の資産	17,363	18,348	984
	固定資産合計	30,654	32,205	1,551
資産合計		61,766	60,231	△1,535

負債の部・純資産の部		2026/3 実績	2026/6 実績	増減
流動負債	工事未払金	3,674	3,404	△270
	買掛金	1	0	△0
	短期借入金	3,450	645	△2,805
	1年内返済予定の長期借入金	60	39	△21
	未払法人税等	1,379	499	△879
	契約負債	2,121	2,637	515
	賞与引当金	1,251	401	△850
	完成工事補償引当金	170	168	△2
	その他	3,151	5,428	2,276
	流動負債合計	15,262	13,225	△2,037
固定負債	長期借入金	442	438	△3
	その他	3,206	3,436	229
	固定負債合計	3,649	3,875	226
負債合計		18,911	17,100	△1,810
純資産合計		42,855	43,130	275
負債純資産合計		61,766	60,231	△1,535

2027年3月期 通期業績予想

Forecast

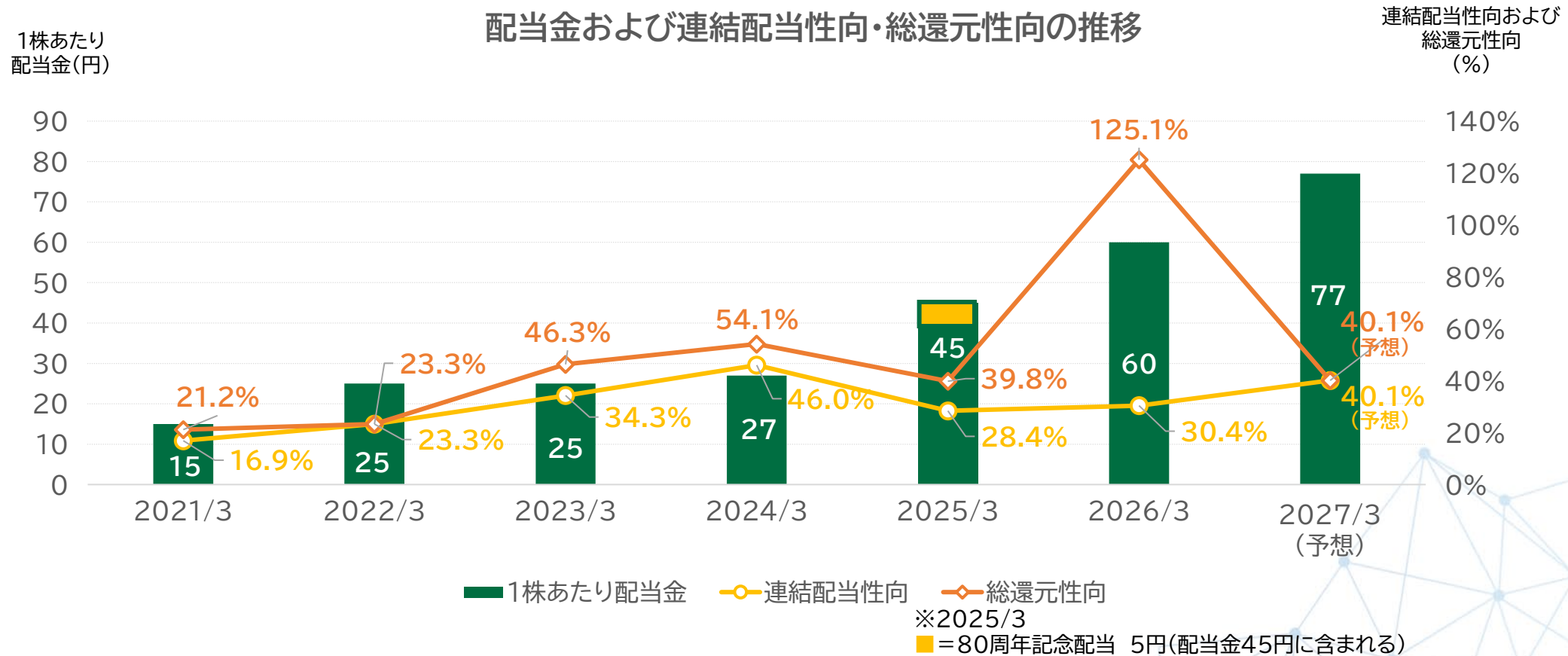
2027年3月期 通期業績予想

- 売上高は、豊富な手持ち工事を背景に、工業化を軸とした大型物件への対応力強化を進めることで、前期比増収見込み。
- 営業利益は、工事案件の大型化に伴う資機材・労務費の増加、テクノパークへの先行投資、人的資本投資、原油高の影響等を勘案し、前期比減益見込み。

(単位:百万円)	2026/3 (実績)	2027/3 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	54,327	55,000	673	1.2%
営業利益	5,401	4,800	△601	△11.1%
(営業利益率)	(9.9%)	(8.7%)		(△1.2pt)
経常利益	6,120	5,200	△920	△15.0%
(経常利益率)	(11.3%)	(9.5%)		(△1.8pt)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,589	4,300	△289	△6.3%
(当期純利益率)	(8.5%)	(7.8%)		(△0.6pt)
1株当たり当期純利益(円)	197.52	192.08	△5.57	△2.8%

株主還元

株主還元の強化を図るため、連結配当性向は従来の30%から45%に目標を引き上げ。
安定的な配当を実現するため、新たにDOEを導入し、2027年3月期配当は前年比17円増の77円(DOE4%相当額)を予定。



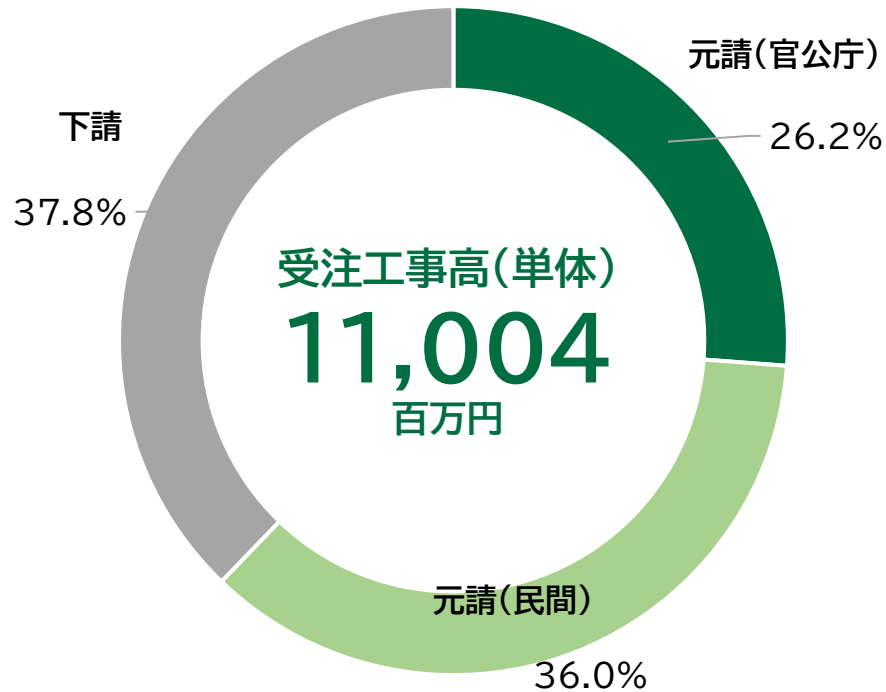
参考資料

Appendix

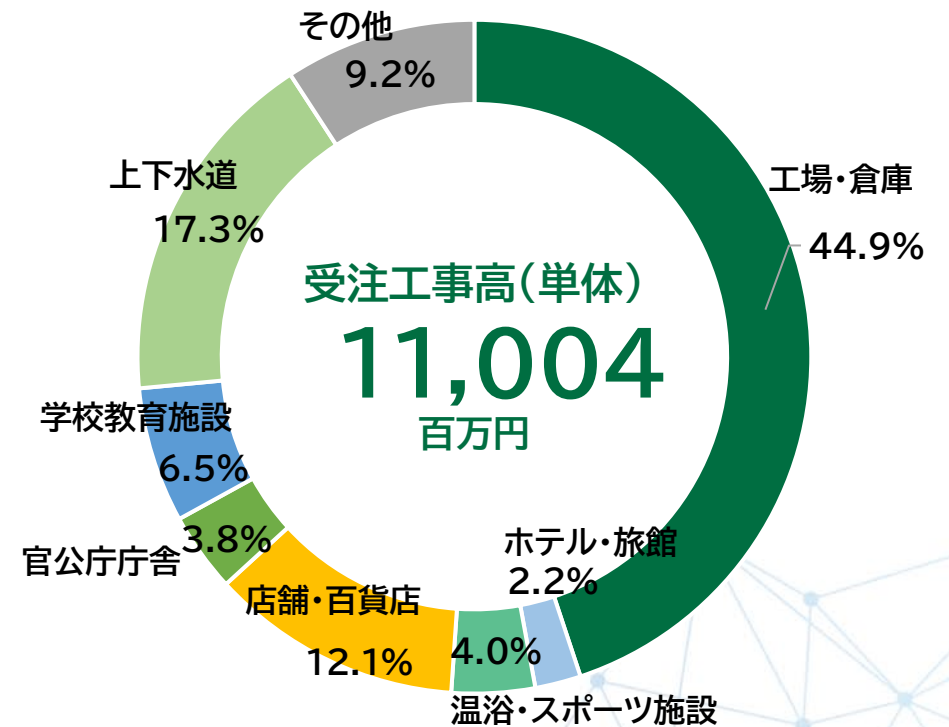
受注比率(単体)

官公庁・民間の元請案件および下請案件から幅広く受注を確保し、安定的かつバランスの取れた受注構成
建物用途は多岐にわたる中、工場・倉庫が44.9%と最も高い比率

元請・下請比率



建物用途別比率

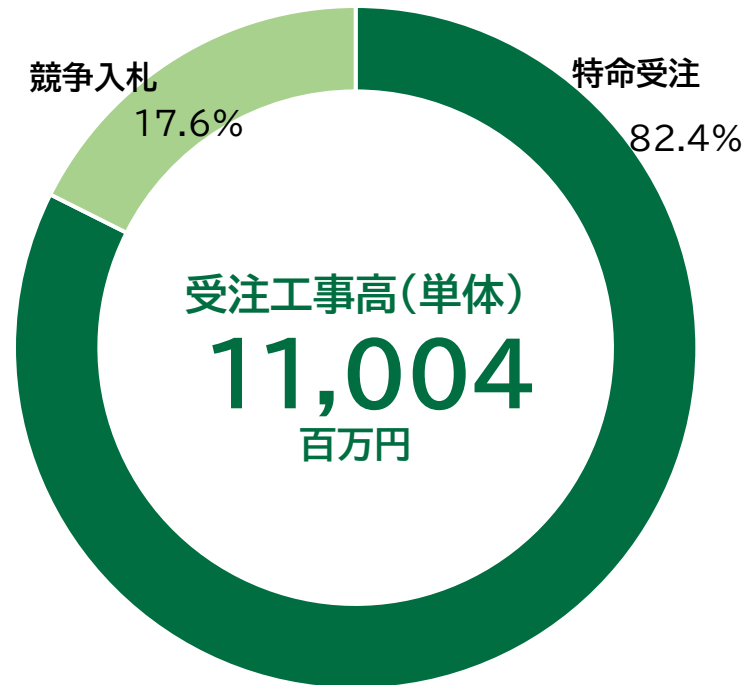


2026/6

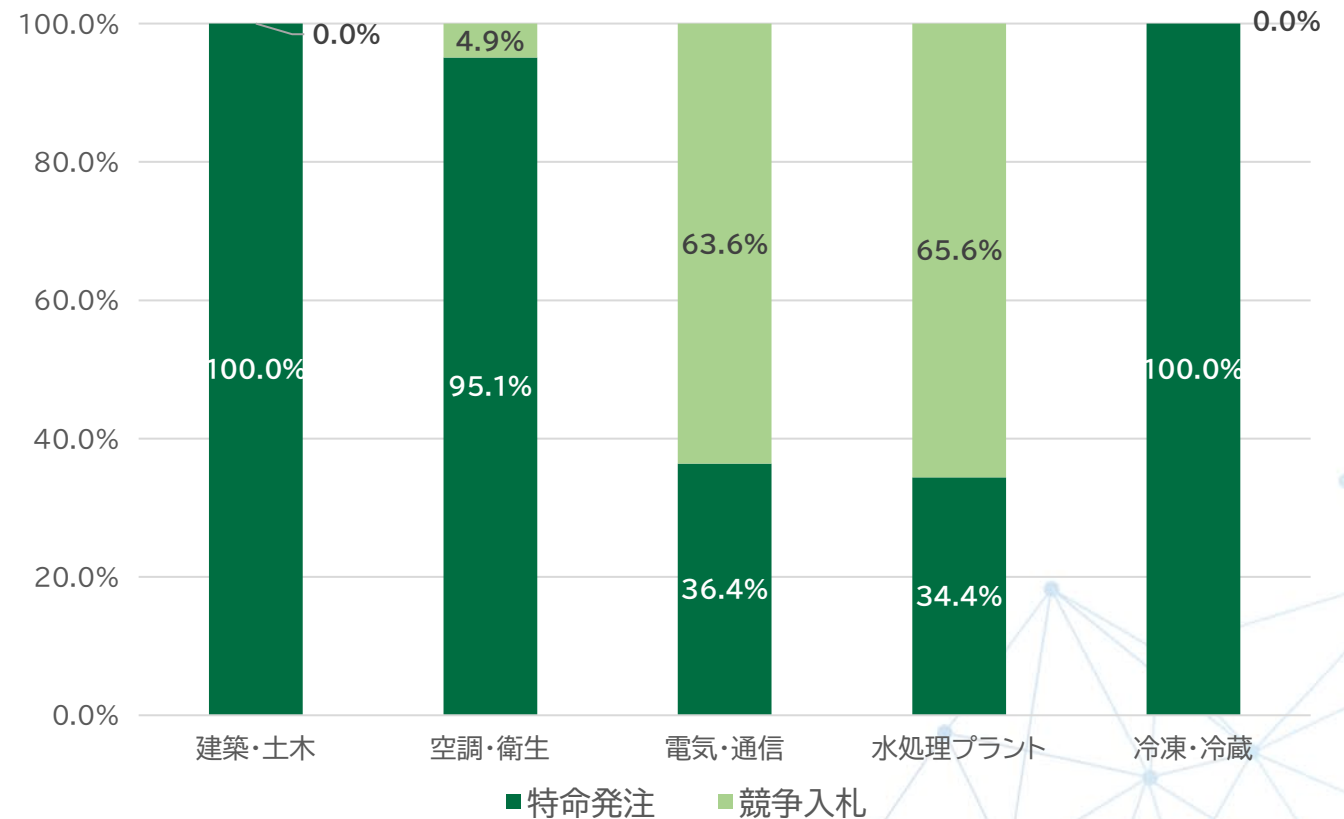
特命受注・競争入札の構成比(単体)

受注案件の約8割を特命受注が占めており、顧客との継続的な関係性とこれまでの施工実績を背景とした受注構造

全体の構成比



工事種類別の構成比

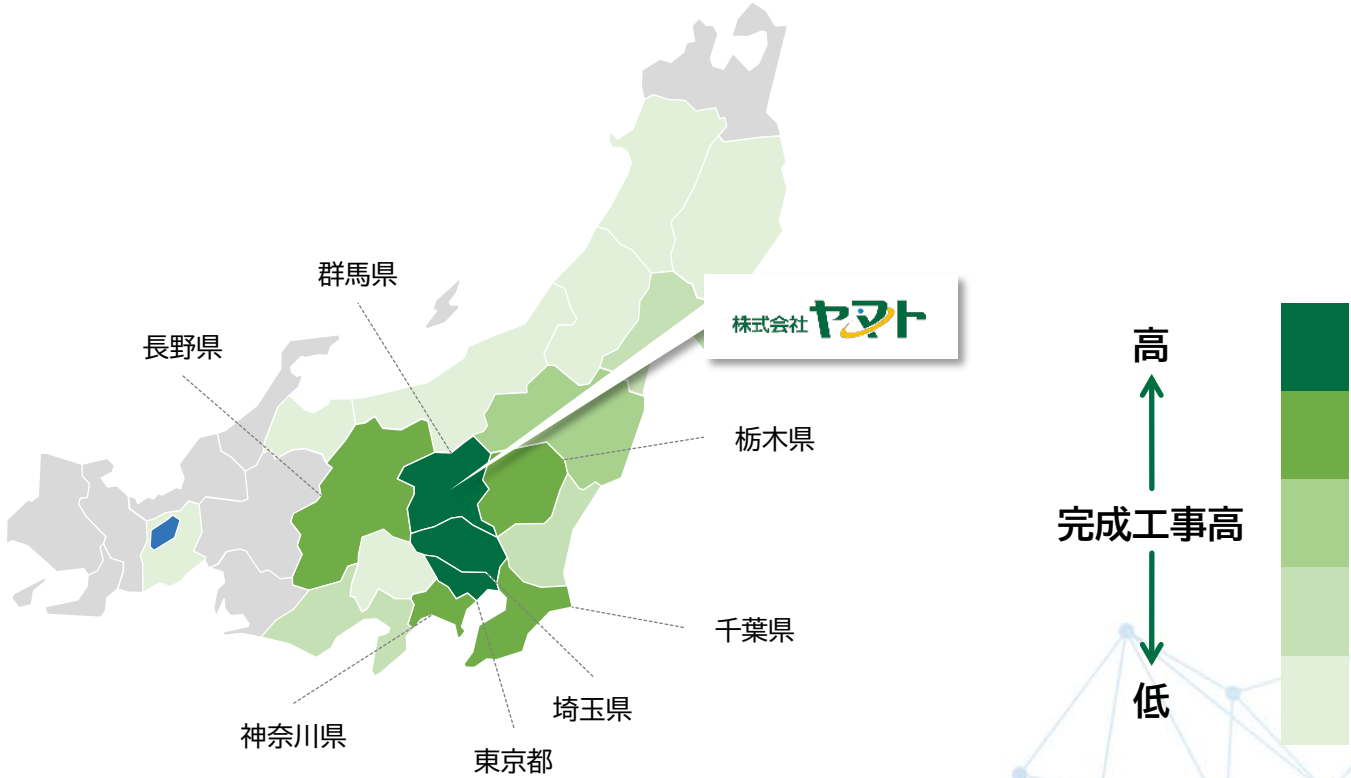


2026/6

地域別完成工事实績(単体)

群馬県での豊富な実績を基盤に、関東全域を中心として甲信越・東北地方へ事業を展開

群馬県	34.6%
埼玉県	16.2%
東京都	13.0%
栃木県	9.0%
千葉県	7.4%
その他	19.8%



2026/6



今後ますます変化する社会・多様化する価値観を素早く認識し受け入れ、
社会課題に先回りして取り組むことで、価値創造の推進力をより一層強化し、人と社会の未来に貢献します。

ヤマト本社敷地内の「ヤマトビオトープ園」は、自然との共生を目指すヤマトの意思を体現する取り組みです。



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。